

# Sabbra Cadabra

かつて、ギタリストにとってもっとも刺激的なことといえば、アンプのゲインを上げることでした。アンプのゲインが足りない時、トレブルブースターがそのアンプをフッシュしました。

トレブルブースターを使い、伝説となるトーンを築き上げた2人のギタリストに注目してみます。Brian May (Vox AC30+トレブルブースター)とTony Iommi (Laney Super Group+トレブルブースター)です。2人のサウンドは全く違うものですが、音作りの手法はほとんど同じです。両者とも、アンプのゲインを上げ、さらにトレブルブースターを常時ONにしています。そして音色の調整は、ギターでのVolumeとToneのみで行っていたのです。

Catalinbreadでは、この美しくシンプルな構成を1つのペダルにまとめたペダルの開発をはじめました。“Amp-in-a-box”と、最適に調整を施したトレブルブースター回路をまとめるのです。使いこなせば最高の音色であるにもかかわらず、その扱いの難しさから敬遠されることもあるトレブルブースターも、こうすることで、そのバランスに気をを使うことなく、音量が上がりすぎることもなく、常に最高のトーンが得られるようになります。ペダルを接続し、ただ弾くだけで“あの音”が甦ります。

そうして生まれたのが、Catalinbread Galileo と Sabbra Cadabra なのです。

現代のロックシーンに最も影響を与えたバンドと言えば、必ずThe Beatlesの名前が上がりますが、おそらくBlack Sabbathほど、多くの“真似”をされたバンドはありません。そのリフは数十年経っても色褪せることなく、全く新しいジャンルを形作ったとすら言われます。そして、そのバンドのリフを作り続けたのが、Tony Iommi です。

その秘訣の1つは、長年にわたりリフを作り続け、弾き続けたことであり、もう1つはそのサウンドを変えなかったことです。

Tony Iommi はいいつもLaneyのアンプにトレブルブースターをかけていました。

Laney Super Groupアンプにトレブルブースターを接続して弾いたことがありますか？そんな貴重な経験を持つプレイヤーは世界中探してもほとんど居ないことでしょう。また、もし仮にそんなチャンスが巡って来たとしても、Tony Iommi のような、大ステージで爆音のプレイはそうそう出来るものではありません。

Sabbra Cadabraをクリーンアンプにつなぐだけで、クリーンから極上のフルドライブまでの驚異的なダイナミックレンジと巨大なステージで感じられるあの立体的でジュシーなフィーリング、至高のハーモニクスが即座に手に入ります。

## クイックスタートガイド

トポロジカルな信号の流れはこうです：

Range → Gain → Presence → Vol.4

言い換えると、レンジコントロールがSabbraのトーン全体を形作ります。Sabbraをセットアップするための最初のステップは、お使いのアンプがスペクトラムの中でどのような位置づけにあるかを決定することです。

## Controls

### Range

このノブはSabbraのトレブル・ブースター・フロントエンドに影響します。回路のこの部分のデザインは、3つのノブを含む回路であるNaga Viperに由来しています：Boost、Heat、Range。Sabbraでは、BoostとHeatコントロールは最大に設定され、Range、つまり入力周波数セレクタをコントロールすることができます。トレブル・ブースターは、低域をカットする小さなインプット・キャップに信号を強制的に通すことで、周波数を設定します。Rangeコントロールは、Sabbraのドライブ側に適切な周波数を与えるために、2つの入力コンデンサー（1つは小さく、もう1つは大きい）の間を行き来します。

### Gain

これはSupergroupのGainコントロールのアナログだと思ってください。低めに設定すればプリティッシュスタイルのクランチが得られ、高めに設定すればアイオミ氏が得意とするチューブを溶かすようなトーンが得られます。3時以上に設定すれば、間違いなくDehumanizerの領域に入ります。

### Presence

Supergroupと同様、Sabbra Cadabraは、様々な周波数をグラウンドにダンプするPresenceコントロールを搭載しています。その結果、フルボディのマスター・トーン・コントロールが実現し、ミックスに好みの位置で収めることができます。

### Vol.4

音量を調節します。

## 電源

トゥルーバイパススイッチングで、スタンダードなセンターマイナス9~18Vのアダプタ、または9V電池で駆動します。18Vでの駆動も可能です。高電圧駆動とすることで、ヘッドルームを広げ、アタックをシャープにします。逆に、電圧を下げることでソフトなトーンを作ることもできます。残量の少ない電池や、電圧を下げることのできるパワーサプライなどでお試しください。あまり電圧を下げ過ぎると音が出なくなりしますので注意してください。消費電流は5mAです。

正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら  
<https://quanta-intl.jp/support/>



catalinbread  
MECHANISMS OF MUSIC

# WARRANTY POLICY

---

この度はCatalinbread製品をお買い上げいただきまして  
まことにありがとうございました。

本品は厳密な製品検査に合格したものです。

御使用中に故障した場合は下記保証規定に従い修理・調整致します。

---

- 1 - 本保証書の有効期限はお買い上げ日より1年間です。
  - 2 - 本保証書は日本国内のみ有効です。
  - 3 - 保証期間内でも次の場合の修理は有償となります。
    - a. 消耗品（電池、真空管、パーツ等）の劣化による交換。
    - b. 保証期間が満了しているパーツが原因による故障。
    - c. お取扱い方法が不適当なために生じた故障。
    - d. お買い上げ後の運搬、落下や加重等による損傷、故障。
    - e. 天災（火災、浸水、地震、落雷等）による故障・破損。
    - f. 発電機の使用による故障。
    - g. 故障・破損の原因が本製品以外の機器にある。
    - h. メンテナンス不足による故障。
    - i. 指定外の者による改造、調整、部品交換などがされている。
    - j. 指定外の者による修理、調整、部品交換などにより生じた故障。
    - k. 保証書の字句が書き換えられている。
    - l. 保証期間内においても、保証書のご提示が無い。
    - m. 取扱説明書における禁止/注意事項を行ったために起きた破損
  - 4 - 修理中の代替品や商品の貸出し等は、いかなる場合におきましても一切行っておりません。
  - 5 - 保証書に購買日付、購買店舗等の記入が無い場合は無効となります。記入できない時はお買い上げ年月日・店名が証明できる領収書等と一緒に保管して下さい。
  - 6 - 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管して下さい。
-